

## 小中学校給食事業について

町田市では、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、給食センター方式による全員給食実施に向けた取組を進めてきました。10月に南エリア中学校給食センターが開業したこと及び各給食センターの活用状況について報告します。

また、10月下旬に小中学校給食で使用している米価改定がありました。1食あたり単価の増加に対応して学校給食費を改定することについて報告します。

### 1 中学校給食センター整備事業について

#### (1) 南エリア中学校給食センター開業

2025年9月20日に開所式を行いました。式典後には試食会を行い、実際に生徒にも提供される給食を提供しました。2025年10月1日から順次、南エリアの中学校5校へ給食の提供を開始しました。

南エリアでは、市民交流エリアの名称を「loop Ondagawa」と名付けて、カフェ、多目的室を併設しています。カフェでは給食ランチを提供しております。

「まちだ施設案内予約システム」を用いて多目的室の貸出を行っています。



公園に面した市民交流エリア



カフェ



多目的室

## (2) 給食センター活用状況

2025年10月31日、町田忠生小山エリア中学校給食センターの市民交流エリア「loop Nanakuniyama」で、ハロウィンイベントが開催されました。仮装したアーティストがコンサートを行い、幅広い年齢の参加者が楽しいひとときを過ごしました。

2025年11月17日から12月19日までの期間、「まちかど子どもギャラリー2025」が開催中です。町田忠生小山エリア、鶴川エリアの両給食センターでは、子どもたちのアート作品を飾っています。



まちかど子どもギャラリー

## 2 学校給食費の改定について

学校給食は、給食費として1食当たりの基準を定めた食材費となるように献立を立てています。数年来の食材費高騰を受けて、2025年7月に給食費（食材費）を改定したところですが、2025年産の新米が流通し始めた2025年10月に、学校給食で使用する米価が1kg当たり約200円上昇しました。現在の給食費（食材費）ではこれまでの栄養価及び量を保った学校給食の提供が困難になることから、給食費（食材費）を改定します。

### (1) 改定額

米価の1kg当たり約200円の上昇は、小学校中学年の児童であれば、1食当たり約12円の上昇<sup>※1</sup>、中学校の生徒であれば、1食当たり15円の上昇<sup>※2</sup>に相当することから改定額を下表のとおりとします。

	2025年7月	2026年1月改定額	改定差額
小学生(低学年)	279円	290円	11円
小学生(中学年)	313円	325円	12円
小学生(高学年) ・教職員等	341円	355円	14円
中学生 ・教職員等	375円	390円	15円

※1 小学校中学年の1食当たり米飯量75g×200円×0.8（米飯提供割合）=12円

※2 中学生の1食当たり米飯量100g×200円×0.75（米飯提供割合）=15円

(2) 対象者

学校給食の提供を受ける児童・生徒、教職員等

(2025年1月から児童・生徒の給食費を無償化していることから、教職員のみ改定後の給食費を負担)

(3) 実施時期

2026年1月1日

(4) 今後の給食費改定について

給食費(食材費)を改定する判断は、消費者物価指数のうち「食料」の指数を基準として見直しの判断を行います。2026年1月の指数を基準として、3ポイントの増減が生じた場合に、給食費(食材費)を見直すこととします。